



The service club to the YMCA
**THE Y'S MEN'S CLUB OF
 TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒662-0977 西宮市神楽町5-23
 西宮YMCA内
 ☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2013年10月会報 第301号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)
 主題:「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語:「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己(神戸ポート)
 主題:「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題:「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ:ユースアクティビティーズ
 「だが、わたしは今日も明日も、その次の日も自分の道を進まねばならない。預言者がエルサレム以外の所で死ぬことは、ありえないからだ。」
 ルカ 13:33

2013年10月第1例会
 日時:2013年10月9日(水)18:30
 場所:宝塚ホテル ゴールドの間
 会費:会員3,000円、会員外3,500円
 ドライバー 谷川 尚
 三品 ミチ子
 石田由美子会長
 全員
 開会点鐘 樋之内 悟
 ワイズソング 今田 稔
 聖書 石田由美子会長
 祈祷 全 員
 ゲスト・ビジター紹介 石田由美子会長
 会食
 お話 「私と宝塚」
 細川紹々(漫画家、イラストレーター)
 誕生日のお祝い
 会長報告 石田由美子会長
 YMCA報告 谷川 尚連絡主事
 閉会点鐘 石田由美子会長

2013/14 役員	会長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部地域奉仕 環境事業主査 長尾 亘
事業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	今田 稔 (10月14日) 井上 みえ(10月23日)
9 月 実 績	在籍会員数 24名 例会出席者数 29名 うち会員数 18名 出席率 62.5% メイクアップ(内数) 1名 メネット 3名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター8名
	BFポイント 9月 4,810円 累計 9,952円 にこにこBOX 9月 6,000円 累計 9,000円 物品販売累計 4,000円

2013年9月第1例会

9月第1例会は9月11日宝塚ホテルにて開かれ、マニラアジア大会及び同時開催されたユース・コンボケーションの報告会となった。

石田会長の開会点鐘、桑田メンの聖書朗読、福田(宏子)メンの祈祷に続き、ゲスト紹介がなされた。岡野アジア会長、人見西日本区LD委員、正野Yサ事業主任、岩田大阪土佐堀クラブ会長、家田西宮ユースリーダー、青柳メンのゲスト吉川さん、福田(宏)メンのゲスト田代、森の両青年、と多彩な顔ぶれが参加下さいましたが、ひととき大きな拍手で迎えられたのは新婚早々の桑田メンのメネット佑紀菜さんでした。花束が贈られました。

マニラアジア大会には宝塚クラブから、石田、多胡、福田(宏)メン、ユースに桑田メンが参加されました。石田委員より写真ショーでマニラ及び大会模様の紹介があったあと、六甲部よりユース・コンボケーションに参加した桑田メン、西宮ユースリーダーの家田奈津美さんから諸報告がありました。概要は既に8月ブリテンに報告されていますのでご参照願いたいですが、お二人とも今回の参加により、かけがえのない新しい仲間が得られたこと、またそこから新たに勇気を得られたと言われ、本当によかったとの思いをもちました。

最後に今大会より新たにアジア会長の重責を担われることになった岡野会長より総括的な報告をお聞きしました。

その他ゲストからのアピール、チャリティラン計画、ジャガイモ販売計画、YMCA報告などなどが続き、本会のタイムリミットとしています9時丁度に閉会となりました。

(それぞれの計画詳細についてはそれぞれの関連記事をお見逃しなく)

(堀江)

【10月例会ゲストプロフィール】

細川貂々 (ほそかわてんてん) ※貂は毛皮になる動物のテンです。漫画家・イラストレーター

1969年9月16日生まれ。出身は埼玉県 現在は宝塚市在住。1996年漫画家デビュー
主な著書；夫のうつ病体験を描いた「ツレがうつになりまして。」シリーズ (ドラマ化、映画化になりました)。夫が専業主夫、育児担当、妻が仕事の逆転夫婦を描いた「ツレはパパ1年生」シリーズ。以前飼っていたペットのイグアナのことを描いた「イグアナの嫁1~3」、他にも多数あります。

一番最近出た本はダイエットして12キロ痩せた体験談を描いた「本当はずっとヤセたくて。」

息子が産まれたのをきっかけに子供向けのお仕事もしたいと思っています。
絵本の挿絵のお仕事もしました「いぬがかいたかったのね」(文・サトシン)



9月第2例会報告

9月18日(水)18:30からハッピーハウスにて第2例会が行われ、石田会長・吉田・福田ヒ・多胡・長尾・谷川・若林各メンが出席した。議事要旨は次の通り。

1. 例会運営について

- ① 10月第1例会のゲスト・スピーカーに宝塚市在住の漫画家・イラストレーター・細川貂々(ほそかわ てんてん)氏を迎える。演題は「私と宝塚」。(プロフィール別記)

近隣各部への案内用のチラシを作成する。

- ② 11月以降のゲストについて、複数の候補者が上がっているのを個々に調整して進める。

2. メネット事業支援について

- ① 9月27~29日、芦屋市民センターにてエーブル・アート展を開催。経費確保のため会場での募金協力の要請がある。開催の趣旨に鑑み協力を。

- ② メネット支援金として例年通り20,000円の支出を承認した。従来、「国内プロジェクト15,000円」「国際プロジェクト5,000円」としていたが、今回は事業主任の意向を受けて「国内プロジェクト」のための支援とする。

3. ブリテン10月号の編集について

9月中に実施された諸行事の参加者レポート、秋のプログラムの予告を中心に、長尾メンから個々に要請する。原稿締切は9月28日、発送は9月30日。

4. チャリティ・ランへ参加について

11月4日(月)開催のチャリティ・ランに例年通りラーメン・ぜんざいで出店協力する。主な機材は西宮Yで調達する。参加者送迎のマイカー・必要人員の確保が急務。参加者は長尾メンまで。詳細は10月第2例会で。

5. 近隣部・クラブ等の行事案内

- 10/5 びわこ部会 船上遊覧(石田会長参加)
- 10/20 さんだクラブ20周年 講演会(森孝一氏)・ベル演奏。三田駅前キューピットモール、1000円
- 10/26 関学/三田の学園祭にフラ(マハロ)出演
- 11/2 大阪クラブ85周年 大阪Y土佐堀会館、無料

参加希望者は石田会長まで。

(文責:若林)

第17回中部部会に参加して

久々の金沢訪問は大雨が迎えてくれた。8月31日「長所を生かして生き生きと！」の部長主題のもと、第17回中部部会が金沢都ホテルで開催された。評議会、メネット会が部会の前に開催され、また今期メネット会主題である「障がい者アート展」がロビーにてパネル展示されており、迫力ある色調、力強い筆さばき、心暖まる作品が展示されていた。

第一部:式典、第二部:二代目森乃福郎氏(上方落語)による「頭のストレッチ」と題して講話がされた。以前京都のワイズメンとのことで、親しみが感じられた。第三部:懇親会では、ギター弾き語り、シャンソンが披露され、加賀料理にはさすが一味異なるおいしさがあった。総勢126名の参加。

宝塚クラブからは、石田会長、今田メネット、福田宏子の三名が参加。

DBCである岩国クラブのファンド応援として、岩国れんこんの買った「岩国軍艦カレー」90箱を完売、売上45,000円を岩国クラブ森脇久会長にお渡しすることができた。

私的としてこの金沢訪問には話題の「21世紀

美術館」を訪問することであった。美術館の建物もあまり他所では見られるものでないユニークさがあり、雨に煙る外庭に置かれた数々のオブジェが印象的であった。



(福田 宏子)

チェンマイYMCA と神戸 YMCA

交流 30 周年ツアー参加報告

期間：2013年9月13-15日(ツアーは17日まで)

宿泊ホテル：Chiengmai YMCA

参加人員：23人、Kobe YMCA, Y'sMen (Kobe, Kobe Port, Takarazuka)

六甲部会に参加して

2013年度六甲部部会が山田部長のクラブで有る神戸ポートクラブ25周年記念例会と合せてありました。初めに六甲部合同メネット会で、西日本区メネット事業である障害者の作品(絵画、陶芸、習字等)の展示会の紹介と自閉症の子供を持つ、三人のお母さんのお話がありました。

第一部、神戸ポートクラブ25周年記念式典、記念講演は神戸大学海事科(旧神戸商船大学)の教授で練習船「深江丸」の船長から東日本被災地支援活動についての話でした。

第二部、懇親会、高瀬理事が率いる西日本区大会準備チームでDBCの岩国クラブから森脇会長をはじめ沢山のワイズが来られたので宝塚クラブもアピールに協力参加しました。最後は次期六甲部部長で宝塚クラブの多胡ワイズの閉会の挨拶で終わった。

宝塚クラブから12名参加し閉会后、岩国クラブの皆さんと集合写真を撮りわけられました。



主な行事

- 1) チェンマイ YMCA と神戸 YMCA の 30 年に亘る交流セレモニーに参加。30年の交流の歴史を振り返るスライドを相互に披露し改めてその交流が継続されたきた感慨に浸る。チェンマイ YMCA 主宰の昼食会、夕食会など
- 2) サンカンペーン YMCA 訪問
地域奉仕活動見学(孤独なお年寄りへの支援)、30周年記念植樹
- 3) チェンマイワイズと神戸ワイズの IB 会議
チェンマイからスライドショーによるプレゼンテーション
神戸から活動の報告
チェンマイから日本の神戸、神戸ポート、宝塚ワイズへのギフト贈呈式

【感想】

初めての参加で要領が分からず、何も積極的にする立場でもないため、とにかく参加することに意義ありということでした。チェンマイ YMCA と神戸 YMCA との 30 年間の交流は大変価値のあるものだと思います。ただ交流するだけではなく、双方がどのような社会貢献を更に高められるかの議論がなかったように見受けられた。何か儀礼的な形になっている気がしました。

IBCの会議においてはこれまでの交流のプレゼンテーションが中心でした。

バンコクの Mr. ウチアンから六甲部全体とタイ全体のワイズの交流と会議にしてはどうかという提案がありました。私はそれを積極的に検討して実行することに賛成です。その上で、ワイズとしてタイと日本の社会貢献のために具体的に何を行って行くのかを議論し実行することを検討されては如何でしょうか？

(坂田昌鴻)

FM 宝塚でアピール

9月17日火曜日、11時からの生放送番組「口笛ラジオ」に今田和子、井上みえ、福田素子の3名のメネットが出演しました。

9月27日から30日まで開催されるメネット事業のアート展のアピールです。

司会者の質問に答える形の番組で、ワイズメンズクラブの説明、メネットの役割、アート展



の主旨、今後の宝塚ワイズメンズの活動などをしっかりお伝えできたと思います。

司会者の質問の持って行き方が上手だったことと、スタジオの外での多胡、福田宏子、長尾メンの応援もあって30分の番組を無事終えることが出来ました。(福田素子)

TIFAのNGO連絡会の件について

先月9月号でNGO 25周年記念行事の一部を報告させていただきましたが大変内容のある楽しい時間を過ごす事ができました。10月以降も楽しいプログラムが予定されています。是非、エスニックコレクションをご覧になって下さい。

【アジア各国めぐり エスニックコレクション(NGO バザー)】

日時 10月12日(土)10時～16時

場所 ソリオ宝塚1 GFメインプラザ

(ステージイベント)午後2時から30分間

- * 税所美智子さんによる「メゾソプラノミニコンサート」エスニック民謡他
- * マルガユニティによる「インド舞踊」南インド古典舞踊

アジアの恵まれない人たちを支援しているNGOグループ〈宝塚市内〉活動国の原産品を直接販売します。収益は全て支援活動に役立たせていただきます。ご来場を心よりお待ちしております。

(NGO担当 三品 ミチ子)

【今月のみ言葉】

辻 建 牧師

人には皆、人生の転機というべき時があります。わたしが牧師を志したのは、25才の時、当時山陰但馬の城崎で高校を卒業後、肺結核で6年もの長い間療養生活をつづけていました。医者からもういいだろうから、好きなことをしなさいと言われた時、自分にはこの道以外にはないと思って神学部への入学を決めました。教会にはこの長い療養中に通うようになっており、

教会のおばさんたちからの声援もありました。それから6年間の貧乏だった学生生活、結婚、教会への赴任。しかしそれは思うほどにはやさしい道ではありませんでした。学園紛争期には経済的な圧迫感もあって、もうこの仕事を投げ出す以外にないのではないかと感じたこともありました。しかし、このイエスの言葉がここに響きました。ある親切なファリサイ派のひとりがイエスにエルサレム行きの危険を警告します。それを知ったイエスの言葉、「だが、わたしは今日も、明日も、また次の日も自分の道を進まねばならない。」それが神さまの備えてくださった道であるのなら、素直に、バカのひとつ覚えのように、それを進む以外にない。いまもそれを大島の地でかみしめています。



1. タイワークキャンプ30周年記念交流ツアー開催

去る9月13日(金)より18日(水)まで、中道基夫会長、中尾秀一国際委員長、総勢23名で、タイチェンマイを訪問し、ワークキャンプの30周年を記念する式典などを行ない、無事帰国しました。1984年に第1回が開始されてから途切れることなく毎年開催され、多い時は23名が参加したこのワークは30年で419名の参加者を数えます。毎回、チェンマイ郊外のタイ北部の農村で、図書館、託児所、水タンク、橋、学校内施設などを建設する作業を、タイのユースや村人の方々と共に行い、文化の交流、開発教育、奉仕活動の実践を続けてきました。今回のツアーでは、チェンマイYMCAの熱烈な歓迎を受け、行く先々で感謝と歓迎が表現され、また友好が深まりました。神戸からの参加者は、会長ご夫妻を

はじめ、進藤啓介神戸ワイズ会長ら神戸ワイズから7名が、また神戸ポート、宝塚ワイズからは坂田メンも。そして、第1回・第7回のキャンパーも参加し、3箇所ワーク地を訪問しました。滞在中、今後のワークキャンプについての協議の場も持たれ、今後の継続が確認されました。あいにく雨季のタイで、毎日スコールがありましたが、豊かな自然の中で、実りある記念ツアーになりました。

2. 今後の予定

1) 秋のバザー・カーニバル

- ・三宮 YMCA 国際バザー 10月20日(日)
- ・西神戸 YMCA 幼稚園バザー 10月26日(土)
- ・西宮 YMCA カーニバル 10月27日(日)
- ・学園都市 YMCA わいわい祭り
10月27日(日)

2) 第29回チャリティーゴルフ

日程：10月23日(水)

場所：芦屋ゴルフカントリークラブ

参加費：20,000円(予定)

3) 第16回チャリティーラン

日時：11月4日(月・祝)

場所：しあわせの村(神戸市北区山田町)

ワイズ用語

Youth Activities (ユース アクティビティーズ)

ユースとはワイズのコメットだけでなく、YMCAのリーダー、そのOB、海外からの留学生も含む若者の活動(支援)